フォトニュース

受け継がれる技と伝統を披露

1月6日、出初め式が行われ、高城神社境内をはじめ市内14か所で熊谷鳶組合による梯子のりが披露されました。技が決まるたびに、見物客からは拍手と歓声があがっていました。

メガソーラーが稼動開始

12月17日に新奈良川第２調節池で太陽光発電所竣工式が行われました。調節池へのメガソーラー建設は県内初となります。当日は、晴天率の高い熊谷らしく青空が広がり、今後の発電量が期待されます。

平成26年度熊谷市優良農家・第10回産業祭農産物共進会表彰式

12月18日、めぬま農業研修センターで行われ、優良農家3名・1団体、産業祭農産物共進会各賞受賞者29名が表彰されました。

読んで当てよう 市報クイズ

今月のテーマ、「入学式の思い出」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「入学式の思い出」のコメントを必ず記入し、2月20日（金）までにご応募ください（一人につき一通）。
※コメントがないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
✉ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもってかえさせていただきます。

12月号の正解

①どっちが大事　②地球温暖化防止
◆応募総数57通中、正解57通

今月の問題

次の［　　］に入ることばを、それぞれお答えください。
① 社会保障・税番号制度（［　　］制度）が始まります。
②投票しましょう［　　］月は統一地方選挙です。

今月のプレゼント

「パブリックスイーツ　タルト＆パイ」ご提供のセットメニュー（アップルパイセット／タルトセット／キッシュセットの中からお好きなもの一種類）を、正解者の中から抽選で10名に提供します。
所在地：埼玉県熊谷市肥塚711-2
電話：048-577-7667

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課℡内線212までお問合せください。

第44回「県民の日」記念作文コンクール入賞報告

12月25日、本コンクールで最優秀賞を受賞した大原中学校2年の高橋佑弥さんと入選を果たした玉井中学校3年の上野貴大さんがその報告のため、市長を表敬訪問しました。

年の瀬の風物詩「酉の市」

12月8日高城神社で酉の市が開催されました。威勢の良い手締めの音が鳴り響き、大変にぎわっていました。

父子（ちちこ）で一緒にはっけよい！

12月14日、父子チャレンジアカデミーが籠原体育館で開催されました。これは、父と子の絆を深めるイベントで、振分親方（元高見盛）による相撲指導が行われ、会場は大盛り上がりでした。

元旦に鳴り響く厳かな太鼓の音

1月1日、妻沼聖天山境内の石舞台において、「天鼓会」による妻沼太鼓初奉納が行われました。訪れた多くの参拝客も厳かで迫力ある演奏に足を止めて聞き入っていました。

子どもが地域で育つ環境づくりを目指して

12月25日、熊谷市放課後子供教室「桜木っ子ふれあいじゅく」が平成26年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞したことに伴い、市長を表敬訪問しました。

サンタの気分でおさんぽ

12月20日、50人の子ども達が赤いポンチョに身を包みイルミネーションで飾られた星川通りを散歩しました。途中、記念撮影やラバーダックペイントなどで寄り道をし、最後はおいしいスイーツなどを食べて楽しい時間を過ごしました。

おたよりパレット

テーマ

わが家のおすすめ鍋料理

定番から、アイデアに富んだオリジナル鍋まで、おすすめを教えていただきました。家族みんなでわいわい食べる鍋料理。寒い日が続きますが、たくさん食べて、楽しく冬を過ごしてくださいね。
おたよりパレットは、市ホームページhttp://www.city.kumagaya.lg.jp/でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ12月号で寄せられたご意見を紹介します。

- わが家のおすすめ鍋料理といったら「肉だんご鍋」です。息子が小さい頃から好きで、大人になった今でも時々わが家に食べに来ます。（50代・女性）
- なんといっても「おでん鍋」です。お酒のつまみにも良し、ごはんのおかずにもぴったり。冬の間は、週に1回は食べています。（50代・男性）
- キャベツ・ニラ・豚バラ肉をたっぷり入れて食べる「キャベニラバラ鍋」がおすすめです。キャベツはまるごと一個、ペロッと食べられます。野菜を好んで食べない夫なのですが、この鍋はモリモリ食べます。（60代・女性）
- 「餃子カレー鍋」です。キムチ鍋に飽きてきたら、スパイシーなカレー鍋がおすすめです。餃子を肉の変わりに入れて、最後はチーズで。本当に温まって美味しいです。（20代・女性）

情熱世代 夢追い人

「目標はパラリンピック出場」

インチョン2014アジアパラ競技大会
卓球日本代表
武田 宜久さん（中恩田）

遊びから始めた卓球

卓球との出会いは、小学6年生の時に親が卓球台を知り合いからもらってきたのがきっかけで、遊びから始めたことです。本格的に始めたのは中学校の部活でした。練習は厳しかったですが、そのときの教えが今の技術の基礎になっています。中学3年の県大会の団体戦で最後に自分が負けてチームの敗退が決まった時は、お世話になった顧問の先生にとっても最後の大会だったので、とても悔しかったのを憶えています。

大好きな卓球ができることに感謝

今は、主に週末と平日の夜間に市民体育館やくまぴあなどで練習をしています。仲間からのアドバイスや撮影したビデオを観るなどして技術の向上を目指しています。日々学ぶことが多く、卓球の奥深さを感じますし、そこが楽しいところです。練習が辛いと思ったことは一度もないです。もちろん、卓球をやめたいと思ったこともありません。卓球は、自分にとって生きがいですね。

また、国際大会などで長期の休暇を取らせてもらっている勤務先の会社や練習でお世話になっている仲間など、いろいろな方々に支えられて卓球が続けられていることに感謝しています。

目標へ向かいモチベーションを上げて

昨年、アジアパラ大会への出場のほか、国内で開催された国際クラス別肢体不自由者卓球選手権で優勝し2連覇することができました。その結果、リオデジャネイロ・パラリンピックのアジア代表枠を決める大会に出場できるので、そこで優勝してパラリンピック出場を決めることが一番の目標です。最大のライバルは中国の選手で、これまで勝ったことはありませんが、練習を積めば勝てる相手だと思います。

また、その先の2020年に東京で開催されるパラリンピックへも出場できるよう頑張ります。地元での開催で盛り上がるでしょうから、ぜひ出場したいです。

障害者スポーツは、まだメジャーではありませんが、障害者が頑張っている姿を多くの人に観て知ってもらいたいと思います。もちろん、卓球の競技人口も増えていけばいいですね。

練習に励む武田さん

来て！見て！知って！文化財

大里の好古家と考古学の幕開け
—武香と開邦からモースとシーボルトへ—

明治10年（1877）、「吉見百穴」から数キロ北方の斜面に位置する「黒岩横穴墓群」の発掘が行われました。この発掘は大里出身の名士が中心となって実施され、16基の横穴墓を確認するなどの成果を得ました。その人物とは、幕末の志士・根岸友山から受け継ぎ当主を担った根岸武香と、郷土史の資料として評価される見聞録『桐窓夜話』を著した須藤開邦です。

同じ年に、エドワード・S・モースが東京の大森貝塚を発掘していることを考えると、この横穴墓群の発掘は、当時の考古学の先端をいく試みだったことが分かります。武香は埼玉県議会第二代議長に選出されるなど政治の分野で活躍しました。また貴族院議員として尽力する中で、古物収集や考古学の分野にも強い関心を抱いていました。一方、開邦も地元の振興に力を注いだ素封家（財産家）に留まらず、自由民権運動にも参画するなど、社会事業を実践していました。「好古家」とも言える武香と開邦の先見の明が、地域の文化財保護や考古学の発展に寄与したのです。

その後、大里地域での発掘成果に興味を持つ、多くの学者や武香との交遊があった著名な外国人などが根岸家を訪れています。その中には、大森貝塚の発掘のほか、日本の動物学に多大な貢献をしたモースと、日本の考古学を確立させたハインリッヒ・フォン・シーボルトがいます。近代日本の学術を先導した2人が、根岸家長屋門（写真）をくぐりぬけ、熊谷に新たな時代の息吹をもたらしたことは、幸運な出来事として後世まで語り継がれていくことでしょう。

◆江南文化財センター　TEL048-536-5062

人口と世帯　平成27年1月1日現在（対前月比）
■人口　201,612人（-83）　男　100,535人（-42）　女　101,077人（-41）　■世帯　83,557（-21）

「市報くまがや」2月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日　平成27年2月1日　●発行　熊谷市
●編集　広報広聴課　〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL048-524-1111（内線206）　FAX048-520-2870

「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）http://www.city.kumagaya.lg.jp/